



霧が丘

令和6年12月20日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 根岸 淳

「これまでの霧が丘 これからの霧が丘」

准校長 岡崎 恵子

日増しに寒さがつのり、今年も残りわずかとなりました。今月は小学部で、5年生のしめ縄づくり、小中5・6組のリースづくりを行いました。地域の方々が集めてくださった自然の材料に親しみながら貴重な体験をしました。中学部では、7、8年生がそれぞれ職業講話、起業家プログラムを行いました。社会とのつながりを意識する時間となりました。ご協力をくださった皆様、ありがとうございました。

15周年記念懇談会に向けて

霧が丘学園15周年に当たる今年度は、新キャラクター「もみずん」の誕生、体育祭・運動会でのPTA・地域の方々との大玉送り、全校「きりたま」でのスタンプラリーや謎解きなどを、子どもたちが主体となって進めてきました。そして、12月21日(土)には、小中授業参観後、15周年記念の取組の中心となる懇談会を行います。



懇談会では、子どもたちの代表(生徒会生徒・児童会児童)と保護者・地域の代表の方々(PTA 役員・学校運営協議会委員の皆様)と教職員が、「これまでの霧が丘 これからの霧が丘」というテーマの下、意見交換をします。世代や立場を超え、霧が丘への熱い想いを語り合う時間になればと思います。5年生から9年生までは各学級で話し合ったことを代表が懇談会で話します。1年生から4年生までは各学級で「霧が丘学園の好きなところ」「霧が丘のまちのすてきなところ」などのテーマを決め、掲示物にまとめました。

このような活動の中で、子どもたちは、これまで霧が丘をつくってくださった方々への感謝の気持ちをもったり、「学校・地域をよりよくしていくのは自分たち一人ひとりであること」に気づき、学校や地域の一員として行動していこうという想いを膨らませたりしています。

霧が丘学園 学援隊

学援隊は、学校・保護者・地域の方々が協働して、子どもたちの見守り活動を推進するため、横浜市教育委員会が実施している事業です。霧が丘学園では今年度、改めて学援隊を発足しました。これまで自主的に登校の見守りや登校支援をしてくださっていた方々、15名が登録してくださいました。12月11日(水)、今年の振り返りの会をもちました。「黄緑色の帽子とベストを身に付けて横断歩道に立っていると、目立つので車が徐行する。」「あいさつが交わされている地域は不審者も近づきにくいだろう。」「名札を見て子どもたちも名前を呼んでくれるようになった。」「死角がないように立ち位置を考えて曲がり角に立っている。」等、様々な視点からのお話をいただきました。霧が丘学園の子どもたちに愛情をもって活動してくださっています。子どもたちの安心・安全な登校につながっています。



児童・生徒の皆さん、長期休業に入ります。元気で楽しい年末年始を過ごせるよう願っています。保護者・地域の皆様、今年も学校の教育活動へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。皆様が穏やかな新年を迎えられますことをお祈り申し上げます。

★学援隊は「無理なく できるときに できることを」をモットーに活動してくださっています。
学援隊の活動にご協力いただける方は小学部までご連絡ください。TEL 921-8002
・各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。
<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>

QRコード

